

会議の経過	
開会年月日時刻	令和5年2月22日（水） 午後2時00分
閉会年月日時刻	令和5年2月22日（水） 午後3時29分
会議の場所	向井千秋記念子ども科学館 会議室
会議次第	
<p>1. 開会</p> <p>2. 会議録署名委員の指名</p> <p>3. 前回会議録の承認</p> <p>4. 教育長事務報告</p> <p>5. 議事</p> <p style="padding-left: 2em;">議案第 1 号 令和4年度教育費補正予算について</p> <p style="padding-left: 2em;">議案第 2 号 児童生徒の表彰について (非公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">議案第 3 号 令和4年度末館林市公立学校校長人事について (非公開)</p> <p style="padding-left: 2em;">議案第 4 号 令和4年度末館林市公立学校教頭人事について (非公開)</p> <p>6. その他</p> <p>7. 閉会</p>	

会議の経過

出席委員	<p>第1番 堀 口 哲 哉 第2番 木 戸 浩 之 第3番 栗 原 昇 第4番 川 島 健 治 第5番 金 子 千 秋</p>
欠席委員	<p>第1番 第2番 第3番 第4番 第5番</p>
提案説明のため出席した者	<p>教育長 川 島 健 治 教育次長 始 澤 勝 也 教育総務課長兼学校給食センター所長 武 井 邦 晴 生涯学習課長 廣 澤 篤 行 参事兼学校教育課長 井 戸 健 二 文化振興課長 中 村 豊 スポーツ振興課長 高 橋 一 哲 向井千秋記念子ども科学館長 石 崎 治 図書館長 黒 澤 文 隆 総括係長 折 原 嘉 和 書記 横 山 瑠璃子</p>

会議の経過

<p>教育長</p>	<p>それでは、定刻になりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後2時00分)</p> <p>本日の日程は、別紙のとおりです。</p> <p>次に、日程第2 会議録署名委員を指名します。</p> <p>今回の署名委員は1番 堀口委員、2番 木戸委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第3 前回来議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>異議ないものと認め、そのようにいたします。</p> <p>次に、日程第4 教育長事務報告をいたします。</p> <p>一般事項(1)群馬県都市教育長協議会第4回定例会が、1月31日に群馬県立館林美術館で行われました。会議では、報告事項として、「令和4年度関東地区都市教育長協議会第2回理事会結果報告について」のほか、協議事項が2件ありました。</p> <p>私からの報告は以上でございます。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありませんでしたら、説明をお願いします。何かございますか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、金子委員。</p>
<p>金子委員</p>	<p>4ページから6ページ、公民館の1月行事に1月21日小学校家庭教育学級合同講演会と全ての公民館に書かれておりますが、どのようなテーマで行われたのかということと、小学校の家庭教育学級というと学校で行われていたと思っていたのですが公民館活動として捉えてよろしいのでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>同講演会は、各小学校の家庭教育学級生が一堂に会しまして、子どもの成長に応じた親の関わり方や発達段階に応じた子どもの理解と適切な対応のあり方などについて学ぶものです。講師にNPO法人日本アドラー心理学カウンセリング協会理事長である鈴木稔様をお願いしまして、「子育てに正解はある～子育てが楽しくなる3つの秘訣とは～」についてご講演をいただきました。こちらにつきましては、公民館主事が中心になりまして、それぞれの小学校家庭教育担当者を含めた形で定期的に公民館や学校で</p>

会議の経過

金子委員	打合せ会議を行っているような状況です。以上です。
生涯学習課長	ありがとうございます。協会の方がいらっしゃったということで、質問等も受け入れたやりとりだったのでしょうか。
金子委員	はい。そのような形となっております。
生涯学習課長	場所は小ホールで、人数的には少人数の参加となっておりますが、ほかにオンラインなどの形式で参加者がいたということによろしいですか。
生涯学習課長	今回につきましては、小ホールをメイン会場にさせていただきました。中には小さいお子さんを連れてこの講演を聞きたいという方もいらっしゃいましたので、そういった方に向けて文化会館の会議室、2号室だったと思いますが、そちらをお借りしてすくすくサポート隊にご協力いただき、託児をお願いいたしました。その会場にてオンラインで映像を映しまして、親御さんも講演会の様子が観られるような形を取りました。今回、外部に対しての広報等を行いませんでした。人数については、関係者だけで79名の方が参加されました。こちらにつきましては、議案書の生涯学習課処理事務報告内に記載させていただいております。
金子委員	そうしますと、小学生の保護者だけではなく、これから小学校に上がるような小さなお子さんの保護者も参加していると捉えてよろしいのでしょうか。
生涯学習課長	おっしゃったように、家庭教育学級の方以外にも公募を行った上で、一般の方もお見えになっていたような状況となっております。
金子委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	3ページの令和5年の二十歳のつどいについてです。私たちも参加させていただいたのですが、2部制でとてもすっきりしていて良かったと思いました。次年度以降も同様の形で開催するのであれば、また2部制を引き続き行って、もしコロナが収束すれば家族の方も入ることができると良いなと思いました。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	二十歳のつどいにご出席いただきまして、ありがとうございました。簡単ではございますが、当日の実績等をご報告させていただきます。日時は令和5年1月8日（日）になります。対象は、第1部が第三中学校、多々良中学校、特別支援学校、市外の中学校となっております。第2部が第一中

会議の経過

学校、第二中学校、第四中学校の3校となっております。まず、令和5年の二十歳のつどい対象者数ですが、男性が394名、女性が353名の合計747名となっております。出席者数につきまして、男性は第1部が120人、第2部が165人、合計285人の方が出席されました。女性につきましては、第1部が109人、第2部が159人、合計268人となっております。合わせまして、第1部が229人、第2部が324人の合計553人という実績となりました。その他、パブリックビューイング席につきまして、昨年は芸術ホールでしたが、今年度は市役所市民ホールを使用させていただきました。その際にお見えになった人数ですが、第1部が60人、第2部が72人で合計132人となっております。そのほかの企画といたしまして、館林市公式動画チャンネルの限定配信という形でYouTubeにて映像を配信させていただきました。こちらが令和5年1月11日(水)現在、再生数が2,124回という実績となっております。以上となります。

栗原委員

ありがとうございました。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

木戸委員

はい、教育長。

教育長

はい、木戸委員。

木戸委員

2ページ、3月の行事に関することで卒業式等がありますが、館林市におけるマスクの着用についてと、例年来賓と呼ばれていると思いますが、その辺りの予定を教えてくださいと思います。

学校教育課長

はい、教育長。

教育長

はい、学校教育課長。

学校教育課長

ご質問いただきました卒業式におけるマスクの着用についてですが、過日国の方からも通知があったところです。本市といたしましては、国、あるいは県の通知を踏まえまして、次のような形での卒業式におけるマスクの着用ということを校長会議で申し上げたところです。児童生徒及び教職員につきましては、式全体を通じてマスクを着用せずに出席することをまず基本とするということを考えております。ただ、学校の感染状況が今後心配されますので、実情に応じて適切に実施していくというようなところを加えております。なお、いろいろなお子さんやご家庭の事情等がありますので、マスクの着用を希望したり、あるいはマスクを着用できない児童生徒や教職員もいることから、それを強いることがないようにということ、その点も付け加えております。また、これは国の方でも話題になりましたが、マスクの着用有無によって差別偏見等もないように適切な指導をとい

会議の経過

	<p>うことで、そのような考え方を示しました。式の中で学校によって国歌や校歌の斉唱、小学校では呼びかけ等が行われる学校もあります。そういったところについては、マスクを着用した上で感染対策を講じるようにという話も付け加えた次第です。来賓等につきましては、卒業式の案内を既に発出しております。小学校の校長会、中学校の校長会で、卒業式については運営協議会の委員の皆様についてはお呼びするという事となっております。入学式につきましては、今後更なる緩和も考えられますので、来賓につきましては、今後検討を進めながら校長会と相談してまいりたいと考えているところです。以上です。</p>
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	5ページの多々良公民館のところで、ルンカフェ合同（ミュージックトゥギャザー）とありますが、こちらはどのような内容でしょうか。教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらの内容ですが、0歳児から2歳児までの子育て講座の参加者、大人17名、子ども14名、計31名の親子が英語で歌を歌いながらリズムをとり、体を動かすなどして、親子で楽しめるようなプログラムとなっております。以上でございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	関連して、多々良公民館でキムチ作りやチゲ作りなどが始まったようですが、作るほかに試食も始まっているのでしょうか。教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	これまでは、群馬県の警戒度に応じて感染対策等対応を行ってまいりました。本市における感染状況に応じた対応が一番望ましいというところで、令和4年11月12日から警戒度が2になっておりますので、原則、調理実習については不可とするとして、但し書きといたしまして「特定の区域で感染拡大時でない限り、また、定期的に利用している団体、かつ、

会議の経過

	<p>利用者が特定できる場合は試食可能」とさせていただきました。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>少し試食も可能になってきたという現状ですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、金子委員。</p>
<p>金子委員</p>	<p>12ページ、児童生徒の不登校状況ですが、これを見ますとやはり夏休み明けの9月以降、特に小学校の不登校のお子さんが増えてきていると感じます。不登校でも1年生から6年生までであると思いますが、不登校になりやすい学年などはあるのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>あくまで傾向としてというところで申し上げますが、やはり学年が上がるにつれて増える傾向がございます。小学校でいえば、5年生や6年生、高学年になるにつれて低学年よりは遥かに増える傾向がございます。特に、今年度については3年生から4年生にかけて増えているという、これまでと少し違う傾向も見られているのが現状でございます。以上です。</p>
<p>金子委員</p>	<p>いろいろ考えてみたのですが、夏休みの過ごし方はとても重要だと思いました。大人でさえ、少しお休みが続いたりすると仕事に行く時に行きたくないなという気持ちはあると思います。夏休みも1か月半あると、子どももそう感じるだろうなという思いがあります。夏休みになるとある程度つながりが切れてしまうことがあると思いますが、学校と友達と自分とで常にどこかでつながっていて、接点を持ちながら夏休みを過ごす形ですと、友達がいるから、学校の先生に声かけられたから行こうかなと、どこかで気持ちも切り替えられるのではないのでしょうか。夏休みの過ごし方を少し変えてみて、先生からの言葉かけを電話1本でもしたり、お友達と一緒に何か学校でする時間を学校で用意したり、そういうことも必要なのかなと考えていました。学校は勉強だけではなく、お友達と交流することも楽しくて良い思い出になるものなので、なるべくそういう時間を子どもたちに与えてあげたいなと、少しでもこういったことが無くなればいいなと思っています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございました。本課といたしましても、今おっしゃったつながりというところ、非常にここは重要だと考えております。夏休みほど長くはないですが、冬休みもやはり通常に比べれば休みが続くということもあります。長期休業において、本課といたしましてはこれだけICTも活用されている状況の中で、学校にもいくつかの例を提示しな</p>

会議の経過

がら休み中の過ごし方についての配慮を求めているところであります。冬休みも含めまして、学校によっては次のような取組をしているところもございました。いずれも委員がおっしゃったつながりという視点からです。例えば、健康観察をするのはもちろんですが、心配なことなどを記入できるような状況確認メールを各家庭に配信し、記入してもらう。学校はそれらを基に、必要に応じてその都度電話をかけたり、休み明けの面談を行う。返信がない家庭には全て電話連絡をして確認した学校もございます。また、話が前後しますが、コロナ感染の中で学校に来る機会が減ってしまったという非常に大きな影響がこの数年間ございます。そうした中でオンライン登校というものを設けて、ICTを使って休業中の様子や顔の表情を見てみたり、あるいは不安や悩みを抱える家庭にメール等で連絡して安心感を持たせたりといった取組、また、長期休業明けには不安・不調を把握できるように心と体のアンケートを実施しながら配慮してみたり、短い時間ですがオンラインを通じて全児童生徒の面談をしてまず顔を見たりといったつながりを持った学校もございます。ただ、なかなかそれがすぐ数字に現れてこないのが非常に難しいところではあるのですが、今後もつながりという視点で子どもたちとの関わり、特に長期休業中については今後も学校と連携を取ってまいりたいと考えております。

金子委員

ありがとうございます。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

木戸委員

はい、教育長。

教育長

はい、木戸委員。

木戸委員

関連しまして、令和3年度は夏休み明けに小中合わせて1人増加でしたが、令和4年度に関しては小中合わせて28人ということで極端に増えています。4年度に何か特徴的な原因などがありましたら教えていただければと思います。

学校教育課長

はい、教育長。

教育長

はい、学校教育課長。

学校教育課長

これにつきましては、本市のみならず群馬県、全国的にもいえる傾向になっております。以前この場で申し上げたかもしれませんが、生徒指導関係の会議の中でもそういったところが一つの大きな話題になりました。もちろん、これだから増えたという明確なところまでははっきりと言えず推測の部分が出てきてしまいますが、本市を見ましても、これまでのコロナ禍の中で子どもたちが、友達をはじめ周りの子との関わりが非常に少なくなり、その日数が重なってきてしまったということ、そういった中での子ども

会議の経過

	<p>もと子ども、あるいは子どもと大人の会話の場面というのも減少傾向にあるのではないかという専門家の意見等も先日いただいたところです。逆に、子どもたちは家庭の時間が長くなり、スマホやゲームに触れる時間がどんどん増えてきて、ゲーム障害といった弊害が増えてきているような現状というのも報告を受けております。あわせて、最近ではだいぶ元には戻ってきましたが、コロナ禍の中で体験活動もちょうどこの夏休み前や昨年、一昨年とだいぶ減っていたということ、そういったものがこの2、3年で積み重なったことが、もしかして影響を与えているのではないかと考えられます。本課といたしましては、だからといって何もしないというわけにはいきませんので、体験活動を充実させるということ、これを校長会議等様々な場で紹介したり申し上げたりしています。今年度においても、学校によっては校長自身が経営方針に掲げて30回から40回ほどやっているような学校もございます。そういった体験活動の充実をはじめ、先ほど申し上げたような関わりや会話が少なくなっているということもありますので、学校教育課として次年度の指導の重点に言語活動の充実、そして言葉を大切にす指導、そういったところを取り入れながら、少しでも子どもたちが以前のような関わりを持ち、自分の心が成長できるような手立ても講じてまいりたいと考えております。今後とも何か貴重なご意見がありましたらいただければと思っております。以上です。</p>
木戸委員	<p>全国的な傾向ということ聞いて少し驚きました。家庭にいる時にスマホやゲーム等で1人の時間を過ごすということが、また新たな問題になってくるといのが怖いと感じました。体験活動等でつながりの部分を大事にさせていただいて、取り戻すということはなかなか難しいかもしれませんが、それに近い状態にさせていただければありがたいと思います。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
堀口委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、堀口委員。</p>
堀口委員	<p>6ページの後援等に関する事で、ふれんずワールド2023というものがありますが、これはどのような事業でしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>こちらの実施団体は、館林ジュニアリーダーズクラブ、通称JLTという団体でございます。構成員といたしましては、社会人が16名、高校生が6名、中学生が24名、あとは小学生となります。活動の目的といたしましては、小学生を対象に年間を通じて普段体験できない自然活動や異年齢</p>

会議の経過

	<p>グループの活動を通しまして、協調性や思いやりの心を育み、青少年の健全育成を図ることを目的としており、今回は小学生の参加募集に当たり、市教育委員会の後援申請を行ったものでございます。活動期日は、令和5年4月1日（土）から同6年3月31日（日）となっており、毎月1回のペースで行っております。なお、参加費は1人当たり2万8,000円で、毎月の活動費及び活動に伴う食事代、保険代となっております。以上でございます。</p>
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	5ページの大島公民館で行っているどようびひろばについて、現在どのような内容で行っているのでしょうか。また、14人というのは子どもたちの参加人数ということでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは少年少女教室の活動の一環になります。年13回の講座がありまして、今回1月14日に行われた活動が11回目になります。内容といたしましては、昔遊びでかるた、あとは羽子板やすごろくなどを行ったような状況です。参加者の内訳といたしましては、小学生が8名、どようびひろばを支援してくださっている大人が6名、合わせて14名となります。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	33ページの中学生の予定献立表についてです。先日、新聞を見ていましたらたまたま給食の記事が大きく載っていて驚きました。2月10日に給食レシピコンテスト最優秀献立と書いてありますが、最優秀献立に選ばれた一番良かった点はどのようなところでしょうか。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	給食レシピコンテストは、子どもたちに献立を考えてもらうことを通して食への関心を高めたり、地場産農作物への理解を深めたりというような食育活動の一環で行いました。市内全小中学校の在籍児童生徒を対象に募集をしました。応募総数が32点ほどありまして、基本的にはおいしさ、材料と作り方、給食センターが作るものですから大量調理に適している

会議の経過

<p>金子委員</p>	<p>か、この3つの基準で県費の栄養教諭、学校給食センターにいる栄養士、それと給食センターの係長等で審査をさせていただきました。最優秀賞になった「里芋ときのこと上州豚を使った炊き込みご飯」、決め手になったのは群馬県産の旬の食材をたくさん使っていて、煮物に使用されることが多い里芋を炊き込みご飯に活用するという点が非常に珍しく、しかもおいしく出来るということで最優秀賞となった次第でございます。以上です。これは中学生だけの提供ですか。小学生もいずれ食べられるのでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>中学校には10日（金）の提供でしたが、小学校は前日の9日（木）に提供しております。小学校の献立は全てひらがなで書いてあるものですから、字が小さくなってしまっておりまして、大変読みづらく申し訳なかったのですが、小学生にもおいしく食べてもらっていると思います。</p>
<p>金子委員</p>	<p>わかりました。こういった新しいメニューを加える回数というのは決まっているのでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>決まりは特にございません。新メニューの開発というものがそもそも頻繁には行われておりません。ただ、今回はこのように子どもたちからアイデアをいただいたので献立にしてみようという取組ですので、これまでどのくらいのタイミングで新しいメニューを提供していたかというのは把握しておりません。申し訳ございません。</p>
<p>金子委員</p>	<p>32点も応募があったということなので、もしかしたら今年だけでなくこれからこういった取組を続けていくわけですね。これからまた新しいメニューがどんどん増えていくと思うととても楽しみです、少し食べてみたいなども感じました。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>今回が初めての試みでして、冬野菜、要するに地場で冬に採れるものを使ったということで募集のタイミングによってはできない場合も多いと思いますが、今度は春野菜、次は夏野菜、といったように季節をずらしてやっていこうかというようなことを現場と話はしております。先ほどの話の関連で、以前、栗原委員から里沼にちなんだメニューを、というようなリクエストを受けておりますので、茂林寺沼、多々良沼、城沼にちなんだものを次年度は出していこうかなと計画をしているところです。</p>
<p>金子委員</p>	<p>ありがとうございます。楽しみしております。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、栗原委員。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>給食に関して、食材も値上げすると思いますが、計画した献立どおりに提供できるのでしょうか。給食費の値上げに踏み切らないといけないのかな</p>

会議の経過

	<p>という気もするのですが、その辺りはいかがでしょうか。</p>
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	<p>物価上昇が続いておりまして、現場の方は食材の調達に大変な思いはしているところですが、令和4年度につきましては補正予算で賄材料費の増額を認めていただきましたので、学校給食費の値上げということで給食費に転嫁することなく乗り切れた部分がございます。年度末までの見込みは立っておりますので、大丈夫かなと考えております。次年度につきましても、当初予算には盛り込むことができませんでしたので、どこかのタイミングで賄材料費が不足するようでありましたら、補正予算を組んでいく必要が出てくるかと考えているところでございます。学校給食費を値上げするタイミングというのは、過去には消費税改定に伴って行ったことがあり、物価高騰で給食費を上げたというのは確認できていないのですが、所管としましてはなるべく値上げは避けたいという思いがありますので、今のところ視野には入っておりません。それが現状でございます。</p>
栗原委員	いろいろ工夫されているということで、ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	<p>14ページの電話相談のことで、その中に来所相談の日程を設定して相談を行ったということが書いてあります。いろいろなケースがあったり、相手の都合にもよったりするとは思いますが、最短でどの制度の期間で来所相談になるのかを教えていただきたいと思っております。</p>
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	<p>相談の内容にはよりますが、本当に緊急を要するものであればすぐいらしてくださいなど、そういったものを提示できるようにはしております。もちろん、不登校の関係等に関しては場合によって日を置く場合がありますが、内容によってできる対応を即座に取れるようにはしております。</p>
堀口委員	<p>ということは、例えば電話の内容によって、予定が合えば翌日などに対応も可能ということですか。</p>
学校教育課長	<p>内容によってはといたしますか、先方のご都合という部分もありますが、可能です。</p>
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。

会議の経過

栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	関連して、同じお子さんが何回か相談をしていますが、2月も継続案件として電話相談に関わっているのでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	まさに、この件は緊急を要するようなところでありますが、結論から申し上げますとその後の連絡はございません。内容が内容ですので、こちらも丁寧な対応を心がけ、いろいろな相談機関等もございますので、併せてそういったところを紹介したり、何よりこの方がご自身のお名前等については一切伏せておられましたので難しさはあったのですが、こちらとしても今申し上げたような様々なところを紹介しながら対応してきた次第です。市内の子かどうかもわからないということですね。わかりました。
栗原委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
木戸委員	はい、木戸委員。
教育長	10ページの補導の記録で、現場注意の一番下に「その他」とあります。その内容と、学職別の箇所でも一般少年にも人数が記載されていますが、内訳を教えてくださいと思います。
木戸委員	はい、教育長。
生涯学習課長	はい、生涯学習課長。
教育長	こちらの20件ですが、補導した日の1月18日(水)は初市を行っておりまして、補導員が巡回補導を行った状況です。場所的には上の項目には属さないということで「その他」に記載させていただきました。続きまして、学識別の表における「一般少年」についてです。こちらも20件となっていますが、同様に初市の補導関連となります。巡回をしている中で声かけ等を行っておりまして、例えば体操服を着ていればどこの小学校や中学校か認識できる場所ですが、私服の方が多く、年齢や学年がわからないことから今回は「その他」に記載させていただきました。
木戸委員	声かけした時に小学生か中学生か等は確認しないのでしょうか。
生涯学習課	その時の状況にもよりますが、補導活動を行う中で気軽な形で「気をつけてね」や「あまり遅くまでいないでね」というような声かけを一般的に心がけています。危険とまではいきませんが、もし何かこれはという行動があった場合については学年等を確認したいとは思っております。
木戸委員	あくまで現場注意の声かけとしてであって、記載にあるような法令や条例

会議の経過

	違反の場合は確認するということですね。わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	15ページに日本遺産「里沼」ワークショップ「里沼ヨシ工作教室」と書いてありますが、ヨシでどういったものを作られるのか気になったので、教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	お手元にちょうどPRしようと配布したチラシがございますので、そちらを見ていただくと一目瞭然かと思えます。ヨシを組み合わせるとミニ灯りとコースター、こちらの2点を作るワークショップをさせていただく予定になっています。それ以外にも、ヨシを使った楽器を演奏していただく予定です。どちらも渡良瀬クラブとあって、遊水地を中心に活動されている方に指導していただきます。非常に多才な方でして、日頃は城沼等で行うカヌー指導者として文化振興課でもお世話になっているのですが、こういったワークショップもされております。以上です。
堀口委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほかでいかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	同じく15ページに記載されている、1月29日の日本遺産「里沼」セミナー「日本遺産を活かしたまちづくり」に私も参加したのですが、行田市、あるいは笠間市の熱心な取組等を聞いてとても参考になりました。今後もこのような他市の事例を市民が聞く機会はあるのでしょうか。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	先日は大変お世話になりました。ありがとうございます。こちらのセミナーは来年度以降も実施していこうと思っております。今回はセミナーですので講演を聞く形だったのですが、来年度は少し捻りまして、里沼のためにボランティア活動をされているプレーヤーの方などを中心に、先進地を視察する等の予定を考えております。視察先の日本遺産のビジョンを館林市と一緒に共有できたり、自分たちの今後の活動や取組に生かせたりできるような視察研修、次のステップになるような企画を考えております。
栗原委員	ありがとうございました。

会議の経過

教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	16ページの埋蔵文化財の発掘に関することについて、現状や何かわかったことがありましたら教えてください。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	こちらの笹原遺跡は堀工町にあります。基本的に遺跡の発掘は家を建てる際や何か工事をする際、文化財保護法第93条に基づいて届出を出さなくてはならないという法律があります。今回は堀工町で家を新築することで届出がございました。笹原遺跡がその新築の一角だったということもございまして、試掘をさせていただきました。場所は美園小学校の南側、茂林寺沼の西側になりますでしょうか、あの一帯が笹原遺跡となります。昭和58年から61年にかけて大幅に調査をした経緯がございまして、そこから旧石器時代から縄文時代の大変貴重な遺物が多数出土したということもあり、もしかすると今回何か遺物が出土するのではないかとということで試掘させていただきました。50センチメートルほど掘りましたら、既に新しい土が元々あった土の上に盛土されておりました。それ以上深く掘った先、元々の土の下にある遺跡までたどり着かなかったこともございまして、今回の新築工事については遺跡に影響がないということで、その時点で試掘は中止とさせていただきます。工事をされる施工主の方には慎重に工事をしてください、と指導させていただきました。遺跡までたどり着かなかったので、特に大きな物が出土したという経緯はございませんでした。以上です。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	19ページ、3月行事予定の3月4日、11日、18日にスポーツ系の行事があります。この行事の概要を教えてくださいたいのと、去年の行事予定に記載があったものの実際に大会が行われた実績報告がなかったものですから、中止になってしまったのか、代替の大会があったのかということも含めまして教えてくださいたいと思います。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。

会議の経過

スポーツ振興課長	<p>こちらは全て少年軟式野球大会になっておりまして、2つの大会の予選会という形で開催しております。1つは群馬県野球連盟が主催しております、第43回全日本学童群馬県大会支部予選です。もう1つは、群馬県教育委員会や群馬県スポーツ少年団などが主催で、少し長いタイトルですが、第40回県民スポーツ祭第59回群馬県スポーツ少年団大会第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会軟式野球大会群馬県予選会として開催しております。こちらの出場枠は全国大会へつながる第43回の学童の大会で2チーム、また、関東大会までとなる第42回の関東ブロックスポーツ少年団の大会が1チームとなっております、この予選会で優勝・準優勝の上位2チームが学童の大会へ、第3位のチームがスポーツ少年団の大会へ出場する形となっております。昨年の開催につきまして、令和2年度は中止となりましたが、昨年度は予定どおり開催しております。行事報告が漏れてしまい、申し訳ございませんでした。昨年度の結果といたしましては、市の代表決定戦で優勝した館林リトル、準優勝のみどりクラブが学童大会へ出場しました。残念ながら、ともに1回戦で敗退してしまいました。また、第3位として三小メッツがスポーツ少年団の大会に出場しましたが、こちらは2回戦で敗退してしまったという結果となっております。今後、行事報告の漏れがないように注視していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
木戸委員	<p>あまりにも大会名が長くてどこで切っているのかわからなかったのですが、1つ目が学童の大会、2つ目が県の大会ということですね。わかりました。ありがとうございます。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それでは、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第5 議事に入ります。 議案第1号 令和4年度教育費補正予算についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 令和4年度歳入歳出予算及び繰越明許費を補正しようとするものである。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありました</p>

会議の経過

	<p>らお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第2号、第3号、第4号につきましては館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開にしたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(各委員より異議なしの声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。</p> <p>【傍聴人及び事務局対象者 退室】</p> <p>(非公開)</p> <p>【傍聴人及び事務局対象者 入室】</p>
教育長	<p>次に、日程第6 その他で何かございますか。</p>
文化振興課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、文化振興課長。</p>
文化振興課長	<p>16ページに書いてありますが、3月12日に少年少女合唱団定期演奏会がございます。ご案内を委員の皆様へ後ほど郵送させていただきます。ぜひとも皆様、ご参加いただければと思います。以上です。</p>
教育長	<p>ちなみに、保護者合唱の人数が少ないということで私も出ることになりまして、2月5日にあった日本遺産シンポジウムに栗原委員と金子委員がご出席して下さった際にご一緒にいかがですかとお声がけしたところ、金子委員に快く引き受けていただきました。皆さんもご承知いただけたらと思います。よろしくお願いたします。</p>
金子委員	<p>よろしくお願いたします。</p>
教育長	<p>そのほかでございますか。</p> <p>(委員等から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。</p> <p>これにて教育委員会を閉会します。(午後3時29分)</p>